

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 埋立部外周護岸上にコンクリート・ブロック据付開始

記者発表資料

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）建設工事では、現在、埋立部外周護岸の築造工事を最速で進めています。今般、8月24日（日）護岸・埋立 工区（東洋建設他）において、埋立部外周護岸の最終工程である捨石^{*1}マウンド上へのコンクリート・ブロックの据付を開始しました。

埋立部では、本年3月に海底の地盤改良工事が完了し、その後、埋立部外周護岸の築堤工^{*2}が7月に完了、築堤工施工完了箇所から捨石を順次投入し、捨石工を本格化させるとともに、捨石工の施工完了箇所からコンクリート・ブロックの据付を開始しています。

このコンクリート・ブロックは、「上部ブロック」と呼ばれ、波が護岸を越えないようにするものです。平成19年7月から千葉県内のブロック製作ヤードで製作されており、二段積みの上段ブロックは、重さ約53トン/個、幅2.3m×長さ5m×高さ2m、下段ブロックは、重さ約52トン/個、幅3m×長さ5m×高さ1.5mの2種類のブロックを約1,600個製作します。上部ブロックは据付延長が沖側は約2,200m、現空港側は約2,000mと長く、排水目的の吐出口ブロックの位置が固定されるため、調整ブロックと現場打ちコンクリート部を設けて位置調整を行います。

今後、上部ブロック据付工を含めた護岸築造堤工事を最速で進め、今秋までに護岸を概成^{*3}（延長約4,500m）させる予定です。

*1 捨石：防波堤や岸壁などの基礎に投入される石（30～200kg/個）をいう。

*2 築堤工：地盤改良後の海底地盤上に岩ズリ（岩を破碎した材料、粒径0～300mm程度）を投入して築堤するもので、捨石マウンドの基礎となるもの。

*3 護岸概成：工用船舶の出入り用に一部、護岸開口部（300m）とケーソン護岸開口部（120m）を残した形状。

平成20年8月29日

国土交通省 関東地方整備局
東京空港整備事務所

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ
都庁記者クラブ

横浜海事記者クラブ
千葉県政記者クラブ

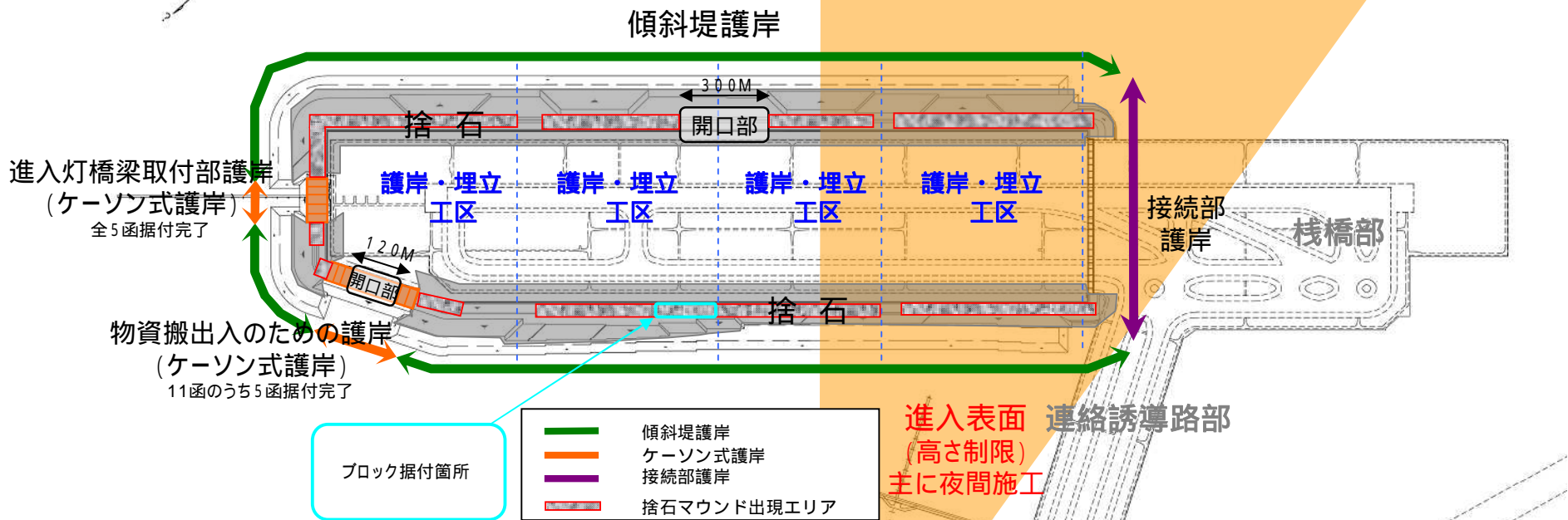
神奈川建設記者会
東京航空記者会

問い合わせ先

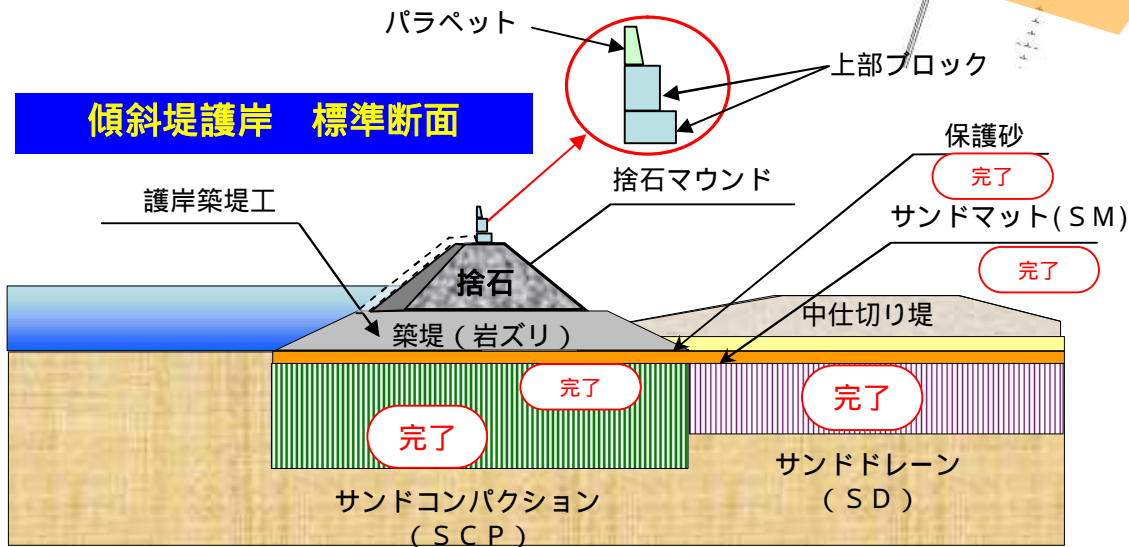
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階
電話 03-5756-6577
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

うえはら はらだ
上原・原田

上部ブロック据付状況



傾斜堤護岸 標準断面



上部ブロック据付状況

<護岸・埋立 工区>

埋立 工区現空港側据付



上部ブロック・据付状況

